



POLYTUNE 3

Ultra-Compact Polyphonic Tuner with Multiple Tuning Modes and Built-In BONAFIDE BUFFER

User Manual



Table of Contents

Important Safety Instructions	3
Legal Disclaimer	3
Limited warranty	3
1. About this Manual	4
2. Introduction	4
2.1 Unpacking	4
2.2 Setting up	4
2.3 Get ready for a new tuning experience!	4
2.4 True Bypass	5
2.5 Brighter than a thousand suns	5
2.6 Strobe tuning	5
2.7 Total recall	5
3. Operation – Inputs, Outputs and Controls	5
4. Operation – Tuning with POLYTUNE 3	6
4.1 Chromatic vs. polyphonic tuning	6
4.2 Display modes	6
4.3 Needle mode	6
4.4 Strobe mode	7
4.5 Polyphonic tuning	7
4.6 Drop D tuning	7
4.7 4.7 Alternate tunings and capos	7
4.8 Changing the reference pitch	7
5. Frequently Asked Questions (FAQ)	8
6. Operation – Bypass Mode	8
6.1 True Bypass and Buffered Bypass explained	8
6.2 Switching between True Bypass and Buffered Bypass	8
7. Maintenance	8
7.1 Updating the firmware	8
7.2 Changing the battery	9
8. Links	9
9. Specifications	9

重要- 安全のための注意事項

1. 注意事項をお読みください。
2. 注意事項の書類は手の届くところに保管しておいてください。
3. 全ての警告をお守りください。
4. 全ての指示に従ってください。
5. 本機器は水の近くで使用しないでください。
6. 掃除には、乾いた布のみを使用してください。
7. 換気口は塞がないようにしてください。
8. 製造者の指示に従って設置してください。ラジエーター、暖房送風口、ストーブをはじめ、熱を発生する機器(アンプを含む)の近くに設置しないでください。
9. 有極プラグやアース付きプラグは安全性を確保するための構造です。無効にしないでください。有極プラグは、二本のブレードのうち、一方が幅広になっています。アース付きプラグは、二本のブレードと、一本のアース棒が付いています。幅広のブレードおよびアース棒は、使用者の安全を守るためのものです。製品に付属するプラグがコンセントの差し込み口に合わない場合は、電気工事業者に相談し、古いコンセントを新しいものと交換してください。
10. 電源コードは、特に差し込み部分、延長コード、機器から出ている部分において、人に踏まれたりはさまれたりしないように保護してください。
11. アクセサリーや装着器具は、製造者指定のもののみをご使用ください。
12. カート、スタンド、三脚、ブラケット、テーブルは、この装置用に販売されているもの、または製造者が指定するもののみを使用してください。カートを使用する場合は、機器を載せて移動する際に、機器の落下や怪我に注意してください。
13. 雷雨の発生中または長期間使用しない場合は、プラグをコンセントから抜いてください。
14. 保守整備は、必ず資格を持ったサービス技師にご依頼ください。電源コードやプラグの損傷、機器に液体がかかったまたは異物が入り込んだ場合、機器が雨や湿気にさらされた場合、正常に動作しない場合、機器を落とした場合など、機器が何らかの状態で損傷した場合には保守整備が必要です。

注意

本マニュアルに明示されていない本体への変更・改造を行った場合、本機器を操作する資格を失うことがあります

保守整備(サービス)

保守整備は、必ず資格のある作業担当者が実施してください。

警告

火災や感電のリスクを軽減するために、機器を雨や湿気にさらさないでください。花瓶等液体の入ったものを機器の上に置かないでください。閉じられた空間に設置しないでください。

EMC / EMI

Electromagnetic compatibility /
Electromagnetic interference

本機器はFCC規準Part 15に準ずるClass Bデジタル機器の制限事項に適合するための試験に合格しています。これらの制限事項は、居住地域での設置時に生じる有害な電波障害を規制するために制定されたものです。本機器は無線周波エネルギーを生成・使用しており、これを放射することがあります。指示に従った設置と使用を行わないと、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。しかしながら、特定の設置状況において電波干渉を起こさないという保証はありません。本機器がラジオやテレビの受信に障害を与えていないかを判断するには、本機器の電源を立ち下げてから再度立ち上げてください。障害を及ぼすことがわかった場合、次の方法で干渉の解消を試みることを推奨します。

- ▶ 受信アンテナの向き、設置場所を変更する
- ▶ 本機器と受信機の距離を遠ざける
- ▶ 本機器を受信機と別の系統の電源回路に接続する
- ▶ 販売代理店、または経験のある無線/TVの技師に相談する

For customers in Canada

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

本Class Bデジタル機器は、カナダICES-003に準拠しています。Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

本書で使用する記号



三角形に括られた矢印付きの落雷マークは、接触すると感電の恐れがある、危険な高電圧の絶縁されていない部品が機器内部に配置されていることを示します。



三角形に括られた「!」サインは、機器を操作またはサービス作業を実施するうえで重要な指示が、製品に付属の文書類に記載されていることを示します

1 このマニュアルについて

このマニュアルは、製品の機能と操作方法の情報が含まれます。重要な情報を見落とすことのないよう、マニュアルは全体を通してお読みください。

接続を完了する前に機器を操作しないでください。まず、「2.2接続」の項で説明しているように外部機器に接続してください。以降のセクションでは、「2.2接続」の項を理解し、すべての接続が行われていると仮定しています。

本マニュアルはPDF形式でのみ配布されており、TCエレクトロニックのウェブサイトからダウンロードできます。各ページ本マニュアルの内容は、予告なく改訂されることがあります。マニュアルの最新版をダウンロードするには、TCエレクトロニックのウェブサイトをご参照ください。

tcelectronic.com/support/manuals

2 はじめに

2010年に初めて導入されたとき、初代PolyTuneはチューニングに革命をもたらしました。プロとアマ問わず多くの賛同を得て、PolyTuneは「Strum(鳴らす) - Tune(調整) - Play(演奏)」のようなシンプルなギターチューニングを実現しました！

ポリフォニック、クロマチック、超精密ストロボモード、代替チューニングなどの複数のチューニングモードなどの一般的な機能を保持しながら、バッファという重要な新機能を追加しました。しかし、バッファだけではありません。

高い評価を得ているBonaFide Bufferをpolytune 3に組み込むことにより、長いケーブルや複雑なペダルの設定で信号や音色をそのままに保ちます。最も強力な2つの技術を1つのペダルに集約することで、polytune 3はより確実なものになります。

2.1 セット内容

製品パッケージに次のアイテムが含まれていることをご確認ください。

- ▶ エフェクト・ペダル本体 x 1
- ▶ TCエレクトロニック・ステッカー x 1
- ▶ クイックスタートガイド x 1

搬送時の破損がないことを確認します。万一破損が確認された場合は、配送業者と発送元にご連絡ください。製品の外箱と梱包材は保存しておいてください。万一搬送時に破損が生じた場合の証明として必要となることがあります。

2.2 接続

- ▶ ペダルに次の仕様の9Vパワーサプライを接続します。



本製品にパワーサプライは付属しませんので、ご注意ください。別売オプションのTC Electronic Powerplug 9を推奨します。パワーサプライが手元にない場合には、バッテリー駆動も可能です。電池交換の詳細については、「電池の交換」をご参照ください。

- ▶ パワー・サプライをコンセントに接続します。

- ▶ 楽器からペダル右側のインプット・ジャックに楽器用¼"標準フォンケーブルを接続します

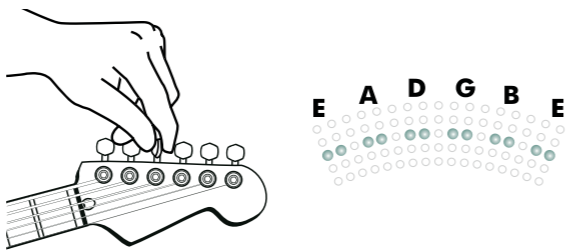
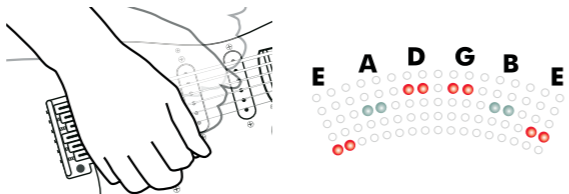
- ▶ ペダル左側のアウトプット・ジャックから次のエフェクターまたはアンプに楽器用¼"標準フォンケーブルを接続します。

- ▶ 別の9 Vペダルへ電源を供給したい場合は、ペダルの後部のDCアウト端子にDCケーブルを接続します。

※9Vバッテリーで使用する場合、DCアウト端子から他のペダルに電源を供給することはできませんので、ご注意ください。

2.3 新しいチューニングを試みましょう

文章を読むのが苦手な方は、次の図を参考に、弦をストラムしてチューナーの表示を確認してみてください。何が起きているか、概ねご理解いただけると幸いです。



詳細は、続く各ページにて解説致します。

2.4 トゥルーバイパス

TCはシンプルなお音に対する信念を持っています。TC製品を使用している間のサウンドは素晴らしいあるべきで、使っていない時にはその機材の「音」は一切聞こえるべきではない、と考えます。本ペダルはトゥルー・バイパス仕様で、ペダルのバイパス時にもトーンに影響を与えません。polytune 3では、トゥルーバイパスモードとバッファバイパスモードを切り替えることができます。バッファバイパスモードは、信号がミュートされていなくても、チューナーをフル稼働状態に保つ「常時オン」を提供します。チューニングはこれまで以上に簡単に効率的になりました。製品の前後に接続する機器の数や種類、使用する全体的なケーブル長によって、トゥルー・バイパス/バッファ・バイパスのモード切り替えを行った方が良いでしょう。詳細は、「6.2 トゥルー・バイパスとバッファ・バイパスの切り替え」セクションをご参照ください。

2.5 どんなに明るい場面でも

polytune 3では、初代 PolyTune よりもLEDが大きくなり、輝度もさらに上がりました。多少離れたところからでも難なく視認できます。また、ライト・センサーと連動しているため、常に周囲の光量に合わせて表示の明るさも自動調節されます。

2.6 ストロボチューナーモード

TCはギターコミュニティからのリクエストを多く受け、ストロボチューナーモードを追加しました。測定精度は、+/- 0.02 セント。すなわち、半音の1/1000という単位です。

2.7 トータルリコール

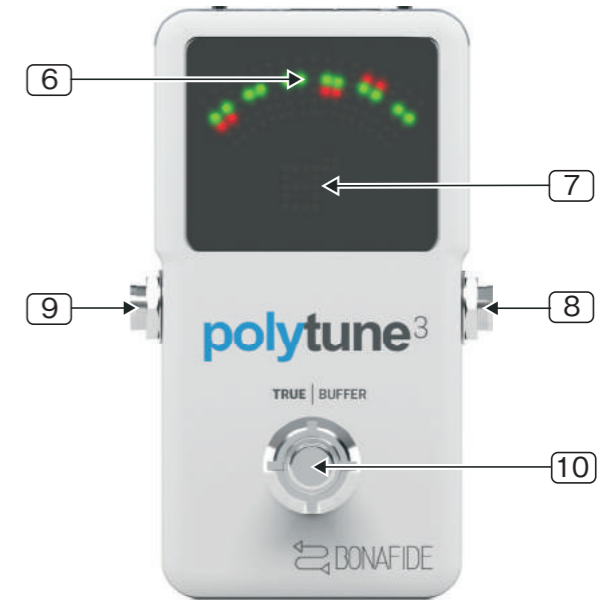
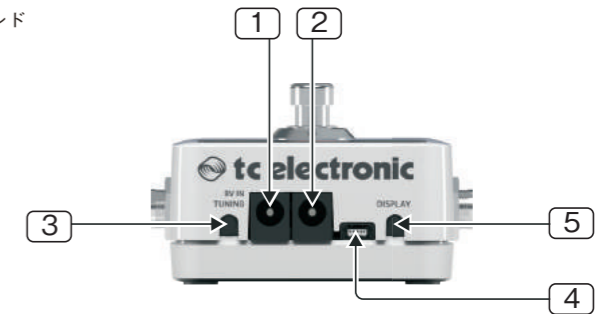
基準ピッチやチューニング・モード等の設定は、電源を落としても保持されます。一度行った設定をやり直す必要はありません。また、楽器を接続すると、確認の為に現行のセッティングが一度表示されます。

また、polytune 3 は、初代 PolyTune の次の特徴を引き継いでいます。

- ▶ polytune - 全ての弦を同時にチューニング
- ▶ ギターとベースに対応
- ▶ ドロップD、カポ・チューニング対応
- ▶ トゥルーバイパス・サイレントチューニング可能
- ▶ 長距離ケーブルを補うためのバッファードバイパス
- ▶ 他のペダルに電源供給する為のDCアウト搭載

polytune3 はより早く、簡単にチューニングを可能にするので、演奏に集中することができます。

3 インプット／アウトプット／コントロール類



1 電源入力端子

ペダルの電源をオンにするには、本体のパワー・イン・ソケットにパワーサプライを接続します。100 mA以上の容量を供給できる9Vパワーサプライが別途必要です。ハムノイズ対策の観点から、パワーサプライは出力がそれぞれアイソレートされているものをご使用ください。電源のコネクターは、標準的なセンターマイナスの5.5 / 2.1 mm DCプラグです。

2 DCアウト端子

パワーサプライを使用する場合、PolyTune 3 のパワー・アウトから他のペダルに電源を供給出来ます。

- ▶ パワーサプライが、接続先の全ての機器に十分な電力を供給できることを確認して下さい。

- ▶ polytune 3 のDCアウト端子から電源供給する際の上限は2Aです。

3 チューニングモードボタン

楽器のチューニング方法に合わせてモードを選びます。標準的なチューニングであれば「E」のまま、ドロップ・チューニングまたはカポを使用している場合には使用しているチューニングを選びます。

チューニング・モードについての詳細は、後述「PolyTune3の使い方」セクションをご参照ください。チューニング・モードの設定は本体に記憶され、電源を一度落としてから再度立ち上げた際にも失われません。

4 USBポート

本機用のソフトウェア・アップデートがリリースされた場合は、アップデート作業にこのポートを使用します。

5 ディスプレイ・モード・ボタン

使用する楽器の種類（ギター/ベース）、そしてチューナーの表示方式（ニードル/ストロボ）を選びます。ディスプレイ・モードについての詳細は、後述「Polytune3の使い方」セクションでご参照ください。ディスプレイ・モードの設定は本体に記憶され、電源を一度落としてから再度立ち上げた際に失われません。

6 ディスプレイ

polytune3のディスプレイには高輝度のLEDが採用されており、日中の自然光の中でも見えやすくなっています。ディスプレイ・モードについての詳細は、後述「polytune3の使い方」セクションをご参照ください。

7 アンブレライト・センサー

ディスプレイの右下には、ライト・センサーが装備されています。周囲の明るさに合わせてディスプレイの明るさが自動的に調整されます。様々な環境で高い視認性を維持するだけでなく、バッテリーの無駄な消費も防ぎます。

8 オーディオ・インプット

標準1/4"ジャック（モノラル/TS）のインプット・ジャックです。楽器からペダル右側のINジャックに標準1/4"楽器用ケーブルを接続します。楽器用ケーブルをインプット・ジャックに接続すると、次の情報が表示されます。

- ▶ 標準(「STD」=STANDARD)、またはドロップDチューニング・モード
- ▶ 現行のディスプレイ・モード（ニードル/ストロボ、ギター/ベース)
- ▶ 現行のチューニングモード
- ▶ 基準ピッチ

9 オーディオ・アウトプット

チューナーの性能をフルに発揮させるため、polytune3は歪みやビブラート・ペダルよりも前に接続して下さい。歪みやモジュレーションの掛かった信号は、ピッチ検出を難しくします。バッテリーの使用時には、電池の消耗を防ぐため、未使用時にインプット・ジャックからケーブルを外して下さい。

10 フットスイッチ

チューナーのオン/オフを切り替えます。

チューニングとアウトプットについて

- ▶ チューナーをオンにすると、アウトプットは自動的にミュートされ、無音でチューニングが行えるようになります。
- ▶ チューナーがオンの状態でpolytune3が音声信号を検出できないと、ディスプレイ底部に4つのLEDが赤く点灯し、チューニングの特機状態にあることを示します。
- ▶ polytune3 はトゥルー・バイパス仕様で、バイパス時にサウンドに影響を与えません。

4 polytune 3 の使い方

4.1 クロマニック・チューニングとポリフォニック・チューニング

一番シンプルなギター・チューナーは、ギターの一般的なチューニング方法（E-A-D-G-B-E）における解放弦の音程を一本ずつしかチューニング出来ません。polytune3 では、一般的なクロマチック・チューナーの機能に加えて、複数の弦を同時にチューニングできます。複数の弦のチューニングを同時に表示するため、チューニングの作業を素早く行えます。楽器の徳7体の弦だけ音程を変えたり、カポを使用している場合でも使用できるよう、polytune3 はいくつかの追加機能を装備しています。

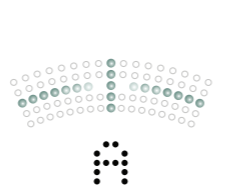
4.2 ディスプレイ・モード

polytune3 の DISPLAY（ディスプレイ・モード）ボタンを一回押すと、現在の設定が表示されます。同じボタンを繰り返し押すと、4つのディスプレイ・モードが順番に切り替わります。

- ▶ **ギター/ニードル（針）モード**（「G」）と表示され、縦線が左右の中心に表示されます。
- ▶ **ギター/ストロボ・モード**（「G」）と表示され、横線が上下の中心に表示されます。
- ▶ **ベース/ニードル（針）モード**（「B」）と表示され、縦線が左右の中心に表示されます。
- ▶ **ベース/ストロボ・モード**（「B」）と表示され、横線が上下の中心に表示されます。

4.3 ニードル（針）モード

ニードル（針）モードでは、針形式で単弦のチューニング表示を行います。ディスプレイ上部5段のLEDにピッチが表示され、ターゲット・ノート（音程）がディスプレイ底部に表示されます。チューニングをしている弦のピッチが低すぎる場合は、左側のLEDが点灯します。高すぎる場合は、右側のLEDが点灯します。チューニングが合うと、中央列のLEDが5つ、そして中央段のLEDが点灯します。



チューニングがあった際のニードルモードでの表示

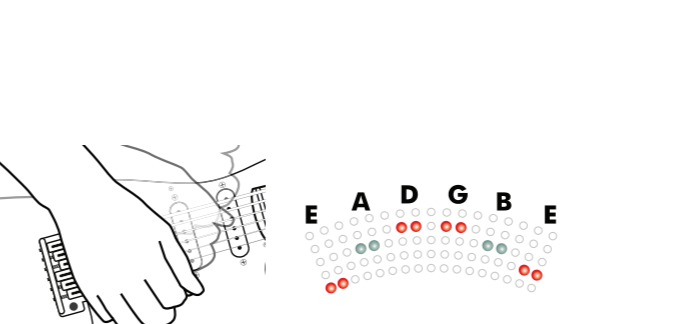
4.4 ストロボ・モード

ストロボ・モードでは、検出された周波数とターゲット（目標）周波数との違いが、同時に二つの方法で表示されます。

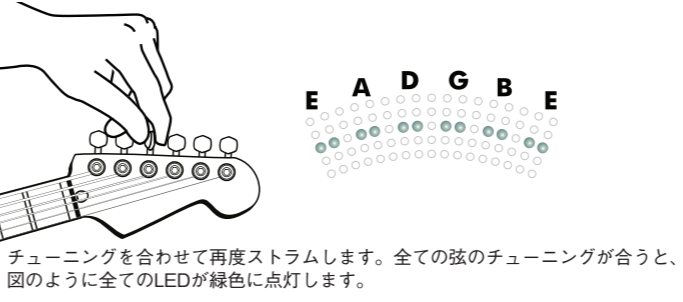
- ▶ **1.** チューニングをしている弦のピッチが低すぎる場合は、中央のLEDの左側に赤LEDが点灯します。高すぎる場合は、右側のLEDが点灯します。
- ▶ **2.** LEDの表示が移動します。ターゲット（目標）ピッチに近い程低速になり、チューニングが合うと、動かなくなります。

4.5 ポリフォニック・チューニング

polytune3 は、ポリフォニック・チューニングに対応しています。全ての解放弦を均一の強さでストラムすることで、全ての弦のチューニングを同時に検知して表示させることが可能です。特別な設定は必要なく、弦をストラムすると自動的にポリフォニック・チューニングに切り替わります。



全ての解放弦をしっかり均一の強さでストラムします。合っている弦には緑色が点灯します。ピッチが高すぎる場合には上に、低すぎる場合は下に赤色のLEDが点灯します。



実際に弾いた弦しか表示されませんので、4弦ベースを使用する場合は4組のLEDが点灯します。

4.6ドロップDチューニング・モード

一番低いE弦をDに下げる際に使用します。このモードは、DADGBE のチューニングの際に使用します。

- polytune3 のフットスイッチを約3秒間長押し（踏み込んだままに）します。
- 「DROP」（ドロップ）と表示され、チューニング大気状態を示すディスプレイ底部の四角が「d」に変わります。
- 標準のチューニングに戻すには、フットスイッチを再度3秒間長押し（踏み込んだままに）します。
- 「STD」（STANDARD = 標準）と表示され、ディスプレイ底部の表示は四角に戻ります。

4.7ドロップ・チューニング&カポ・モード

polytune3 は、全ての弦の音程を金いるに下げるドロップ・チューニングと、カポを装備した状態でのチューニングに対応します。設定はTUNING (チューニング・モード)ボタンで行います。チューニング・ボタンを押すと、現在のチューニング・モードが表示されます。レギュラーチューニングのスタンダード・モードでは、「-E-」と表示されます。ボタンを押すたびに、次の表の順でモードが切り替わります。一周すると、スタンダード・モードに戻ります。

Display	Mode
---E---	レギュラーチューニング
Eb	半音下げチューニング
D	1音下げチューニング
Db	1音半下げチューニング
C	2音下げチューニング
B	2音半下げチューニング
F1	1フレットへのカポ装着
Gb2	2フレットへのカポ装着
G3	3フレットへのカポ装着
Ab4	4フレットへのカポ装着
A5	5フレットへのカポ装着
Bb6	6フレットへのカポ装着
B7	7フレットへのカポ装着

2秒間ボタン操作を行わないと、ディスプレイが2回点灯し、チューニング・モードの設定が確定されます。チューニング・モードの設定は本体に記憶され、電源を一度落としてから再度立ち上げた際にも失われません。

4.8 基準ピッチのキャリブレーション

工場出荷時の基準ピッチはA= 440Hz に設定されていますが、チューニングが固定の他の楽器に合わせるといった場面では、異なる基準ピッチでチューニングを行う必要性が生じる事があります。基準ピッチを変更する手順は次の通りです。

- polytune3 のDISPLAY とTUNING (3) ボタンを同時に押します。
- 現行の基準ピッチの設定がHzで表示されます。（例：「440」）。
- TUNNING ボタンを押すたびに、基準ピッチが1Hz 上がります。
- DISPLAY ボタン押すたびに、基準ピッチが1Hz 下がります。
- 設定完了後2秒間ボタン操作を行わないと、通常のチューニングに戻ります。基準ピッチの設定は本体に記憶され、電源を一度落としてから再度立ち上げた際にも失われません。

5 FAQ

Q.音が聴こえません。

A.チューナーをオンにすると、無音チューニング出来るように出力がミュートされます。

Q.パワーサプライを接続しているにも関わらず、フットスイッチを押しても何も起こりません。。

A.polytune 3 のインプット・ジャックにケーブルを接続して下さい。

Q.ディスプレイに赤く「#」と表示されます。これは为什么呢？

A.polytune3 オンで、楽器のチューニングを表示する待機状態にあることを示します。この状態ではアウトプットはミュートされていますので、ミュートを外すにはフットスイッチを押してください。

Q.ベストな精度を得るためのコツはなにかありますか？

A.エレキギターをポリ・モードで使用する際には、ネック側のピックアップを使い、親指でストラムすることをお勧め致します。

6 バイパスモード

6.1 トゥルー・バイパスとバッファード・バイパス

トゥルー・バイパスについて

ハードウェア的にバイパスを行い、ペダルをバイパスした際に信号に一切影響を与えません。本ペダルの工場出荷時には、この設定になっています。少数のペダルを使用していて、ペダルの前後の配線も短距離の場合に適しています。

バッファード・バイパスについて

以下のような場合はシグナルパス上最初と最後のペダルのバッファを有効にすることで最善のパフォーマンスが得られます。

- ▶ ギターから一つ目のペダルまでに長いケーブルを使用する
- ▶ 多くのペダルを使用する
- ▶ エフェクトボードからアンプまでに長いケーブルを使用する

トゥルー・バイパスとバッファード・バイパスの違いが聞き分けられるかというのは、数え切れない要素が絡みます。アクティブとパッシブ・ピックアップ、シングル・コイルとハムバッカー、ケーブルのクオリティ、アンプのインピーダンス等、セットアップ全体の多くの要素が様々な形で相互に影響を与え合うため、一律な答えは存在せず、状況によって聞き分けられる場合もそうでない場合も存在します。一番頼りになるのは自分の耳となりますので、ご使用のセットアップに適した設定を探し当ててください。

6.2 バイパスモードの切り替え

下記の手順で切り替えが可能です。

- ▶ ケーブル類を外し、本体を裏返します。
- ▶ バックプレートのネジを外すと、左上の角に小さいDIPスイッチが2つ見えます。
- ▶ DIPスイッチの組合せと効果は下記の表をご参照ください。

スイッチの状態	ペダルのモード
2つとも左側にある	トゥルー・バイパス
上のスイッチは右に 下のスイッチは左に	バッファード・バイパス
2つとも右側にある	バッファード・バイパス & ディスプレイスリープ設定解除

- ▶ DIPスイッチを希望の組合せにセットします。

- ▶ バックプレートをつけ直します。

7 メンテナンス

7.1 ファームウェアアップデート

TCは、製品のファームウェア・アップデートを公開することがあります。TCペダル製品のファームウェアをアップデートするには、WindowsまたはOS Xを搭載したUSB対応パソコンと、ペダル用のDCパワーサプライが必要です。

ファームウェア・アップデートの準備

- ▶ ファームウェア・アップデート用のファイルは、TCウェブサイトの該当製品ページの「サポート」セクションからアクセスできます。
 - ▶ Windows版はzipアーカイブ形式で供給されます。
 - ▶ OS X版は、ファームウェア・インストーラーを含むディスクイメージファイル形式で供給されます。

- ▶ ペダルから、パワーサプライを含む全てのケーブルを外します。

- ▶ ペダルとコンピューターをUSB接続します。

- ▶ TCペダル製品の一番左のフットスイッチをホールド（長押し）します。フットスイッチを長押ししたまま、電源ケーブルを接続します。

- ▶ ペダルのペダルの一番左側のLEDが緑に点灯するはずですが、これは、ペダルがソフトウェア・アップデートを受け付ける準備ができていることを示します。

- ▶ フットスイッチを離します。

- ▶ これで、TCペダルがアップデート可能な状態になります。

ファームウェア・アップデートの適用

- ▶ コンピューター側で、起動しているDAW等全てのMIDI関連アプリケーションを終了してから、ダウンロードしたペダルのファームウェア・アップデーターを起動しま
- ▶ STEP 1のヘッダの下に表示されるドロップダウン・リストから、アップデートすTCペダルを選択します。

- ▶ STEP 2の下に表示される「Update」ボタンが緑に表示されたら、クリックします

ファームウェア・アップデートがTCペダルに転送されます。プログレスバーが100%に到達するのを待ちます。アップデート作業が完了したら、ペダルは自動的に再起動します。

7.2 電池の交換

電池交換の手順は次の通りです。

- ▶ ペダル裏側のネジを外して、バックプレートを外します。
- ▶ 古い電池を外してから、新しい電池を正しい極性で装着します。
- ▶ バックプレートを戻します。

留意点

- ▶ 電池を加熱／分解したり、火や水に投入することは絶対にしないでください。
- ▶ 充電用以外の電池は充電しないでください。
- ▶ 長期間ペダルを使用しない場合は電池を外してください。
- ▶ 電池を廃棄する際は、法規や条例に従ってください

8 リンク

サポート

- ▶ TC Electronicサポート
https://www.tcelectronic.com/brand/tcelectronic/support
- ▶ TC Electronic – 製品ソフトウェア
https://www.tcelectronic.com/brand/tcelectronic/free-software
- ▶ TC Electronic – 製品マニュアル
https://www.tcelectronic.com/Categories/c/Tcelectronic/Downloads
- ▶ TC Electronic -ユーザー・フォーラム
http://forum.tcelectronic.com/

TCエレクトロニク

- ▶ ウェブ
https://www.tcelectronic.com/brand/tcelectronic/home
- ▶ Facebook:
https://www.facebook.com/tcelectronic
- ▶ Google Plus:
https://plus.google.com/+tcelectronic
- ▶ Twitter:
https://twitter.com/tcelectronic
- ▶ YouTube:
https://www.youtube.com/user/tcelectronic

9 仕様

仕様は予告なく変更されることがあります。

バイパスモード	トゥルー・バイパス（バッファード・バイパス選択可）
入力コネクタ	標準¼"ジャック- モノラル/TS x 1
入力インピーダンス	1 MΩ
出力コネクタ	標準¼"ジャック- モノラル/TS x 1
出力インピーダンス	100Ω
電源	標準9 V DC、センターマイナス、>100 mA (パワーサプライ別売)
バッテリー・オプション	標準9 V（別売）
USBポート	Mini USBコネクタ（ソフトウェア・アップデート用）
寸法（幅 x 奥行き x 高さ）	72 x 122 x 50 mm (2.8 x 4.8 x 2.0")

FEDERAL COMMUNICATIONS COMMISSION COMPLIANCE INFORMATION



Responsible Party Name: **Music Group Services NV Inc.**

Address: **5270 Procyon Street
Las Vegas, NV 89118
USA**

Phone Number: **+1 702 800 8290**

POLYTUNE 3

EMC/EMI This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B Digital device, pursuant to part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in residential installations.

This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/ TV technician for help.

For customers in Canada This Class B digital apparatus complies with Canadian CAN ICES-3B.

